

# 「ハマる、ハチノへ。」 ツーリズム・シティプロモーション 特別委員会

日時：令和8年3月18日（水）  
午前10時  
場所：第2委員会室

## ○ 議 題

### 【広報統計課】

- 1 超帰省応援事業について

### 【観光課】

- 2 「ハマる、ハチノへ。」アクションプランの策定について
- 3 地震からの復興PRの取組について
- 4 食のまち・八戸応援食事券事業について
- 5 国立公園種差海岸の魅力向上事業について
- 6 観光・物産PR（イベント参加・実施）について
- 7 アニメコンテンツを活用したデジタルスタンプラリーの実施について
- 8 令和8年八戸えんぶりについて

## 超帰省応援事業について

### 1. 事業概要

友人や同僚を連れて地元へ帰省したり、友人等の帰省についていき、友人の地元を自分の地元のように楽しむ「超帰省」について、八戸市で事業化することにより、友人という信頼関係を持った人を介しての関係人口の創出を図る。

今年度は、「超帰省応援事業」として、「クーポン事業（はちのへ超帰省クーポン）」と「超帰省お試し旅」をトライアルで実施し、令和8年度からの本格運用につなげる。

### 2. 「はちのへ超帰省クーポン」の活用実績(令和8年2月末時点)

「はちのへ超帰省クーポン」は、市内で体験サービスを提供している事業者と連携し、超帰省で来八された方に、より多くの体験をすることで八戸を知り、楽しんでいただけるよう、市内6店舗で使える優待クーポンを事業者負担により発行したもの。

クーポンは、電子クーポンと紙媒体の2種類があり、事業者が提供するサービスの料金割引が受けられる。

- 申請件数 114 件
- 利用回数 延べ 26 回
- 利用人数（同行者含む） 延べ 77 人
- 利用率 22.8%
- 申請者について
  - ・男女別 ①女性：79 件（69.3%）  
②男性：35 件（30.7%）
  - ・地域別 ①首都圏：56 件（49.3%）  
②青森県内：36 件（31.6%、うち八戸市は 30 件）  
③東北地方（青森県以外）：12 件（10.5%）
  - ・年齢別 ①20代：33 件（28.9%）  
②30代：26 件（22.8%）  
③40代：19 件（16.7%）

### 3. 「超帰省お試し旅」の実施状況

超帰省応援事業がメインターゲットである「24歳以下の市外在住の若者」に効果的に訴求できるよう参加者から具体的な意見をいただくため、「私のすすめる八戸旅」をテーマとして、公募型プロポーザル方式で選定した事業者によるモニターツアーを実施したもの。

#### ○概要

- ・プロポーザルで選定された3事業者が実施。

- ・各事業者の実施日程は2泊3日で、参加者は1組3名程度。
- ・プランの中にクーポンコンテンツを1つ以上含め、八戸市に帰省したような感覚を味わえるよう、地元ならではの体験や地域の魅力を感じられるコンテンツで構成する。
- ・最終日の夜にディスカッションの時間を設け、お試し旅の内容や八戸市の魅力、超帰省応援事業のプロモーション方法等について参加者・事業者が意見交換を行う。

#### ○実施事業者

事業者名	実施内容	実施期間
八戸ゲストハウス トセノイエ	八戸酒造の蔵見学や、地域交流モーニング、八戸で暮らす20～30代の同世代と交流するランチ会等	R7.9.5～9.7
合同会社カイトック	ナイトカヤックや海辺の朝ヨガ、みちのく潮風トレイルのトレッキング、八戸の食材でバーベキュー等	R7.9.8～9.10
㈱ACプロモート	南郷地域でのワイン用ブドウ収穫や横丁巡り、種差エリアでのサイクリング、館鼻岸壁朝市での朝食等	R7.9.26～9.28

#### ○参加者・事業者からのフィードバック内容（一部抜粋）。

##### ① プロモーション方法について

- ・メインターゲット層はGoogleではなくTikTok等で検索することが多く、InstagramやXよりもTikTokやBeRealといったSNSが身近である。
- ・大学・研究室・掲示板への広告物掲示のほか、メインターゲットの親にあたる世代へアプローチが有効だと思う。
- ・ディスカッションの中で、市外に出た若者は親を通じてLINEで地元の情報を得ることが多いという意見があり、八戸にいる親世代がシェアしたくなる情報発信の工夫が必要だと感じた。

##### ② 八戸の魅力について

- ・年齢や立場を超えた気さくな関わり方や、外部からの来訪者も快く受け入れるなどの人の魅力。
- ・横丁のディープでフレンドリーな文化や、中心街がコンパクトで江戸時代からの町割りが残る独特の都市構造。
- ・種差海岸などの雄大で美しい自然に日常的にアクセスしやすいなど自然の魅力がある。

## 4 令和8年度の取組について

令和7年度の「はちのへ超帰省クーポン」協力事業者は、トライアルということもあり、八戸市からお声がけし、事業の趣旨に賛同いただけた6事業者のみで実施したが、クーポンの申請者アンケートやお試し旅で寄せられた意見を基に、より多種多様なクーポンコンテンツの充実を図ることが必要であることから、令和8年度の協力事業者につ

いては公募で選定された 11 事業者に加えて、是川縄文館、YS アリーナ八戸のサービスも追加し、計 13 事業者のサービスを提供する予定としている。

また、クーポンの申請件数に対して利用率が 22.8%と低調だった結果を踏まえて、来年度のクーポン協力事業者及び提供サービスの拡充を実施したところである。

加えて、今年度も実施した市内大学・専門学校・高校の卒業生や八戸特派大使への紙クーポンの配布や、当市から進学した市外大学でのポスター掲示協力依頼を行い、SNS等でのこまめな情報発信に努めるとともに、ターゲットを絞った有料インターネット広告の実施も予定するなど、クーポン活用の促進に向けた取組を進める。

## 5 令和8年度の予算額について

2,253 千円（うち国庫補助金 1,071 千円）※補助率 1/2

## 6 令和7年度の実施の様子



## 「ハマる、ハチノへ。」アクションプランの策定について

### 1 アクションプランについて

- ・「ハマる、ハチノへ」観光振興プラン 2025～2029 の方針を具体化するアクションプランとして令和 7 年 10 月に策定
- ・八戸観光の新たな展開に向けた実行計画

### 2 アクションプランの位置づけ

観光振興プラン	アクションプラン
基本方針・数値目標を示す	方針を実現するための具体的取組を示す
『何を目指すか』	『どう実現するか』

### 3 アクションプランの概要について

- ・新規事業数 20 ⇒ 優先的に着手すべき事業 8

### 4 優先的に着手すべき 8 事業について

- (1) 食のまち・八戸の推進
  - ①ワールドシーフード・ウォーク（仮称）の実施
  - ②八戸食文化会議（仮称）の実施
- (2) 国立公園「種差海岸」の魅力向上
  - ③「種差」地区計画策定事業
  - ④みちのく潮風トレイルと八戸十和田トレイルを連動させた PR 事業の実施
- (3) インバウンド対応の充実
  - ⑤受入れ環境整備（Googleマップ対応等）
- (4) 持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）を活用した観光地マネジメントの取組
  - ⑥指標評価ワーキンググループの設置等による取組の推進
- (5) 観光人材の育成
  - ⑦観光人材育成プロジェクトの実施
- (6) 観光による経済活性化
  - ⑧宿泊税検討会の実施

## 5 アクションプラン掲載事業の来年度主要予算

- (1) ワールドシーフードウォーク開催事業費（8, 203千円）  
市内全域を舞台に、海鮮料理を「食べて・学んで・巡る」食文化イベントを開催
- (2) 八戸食文化会議開催事業費（561千円）  
当市の食文化の体系的な整理と、観光コンテンツ創出、情報発信体制構築に関する検討を実施
- (3) 【仮称】みちとわフォーラム in 八戸開催事業費（2, 200千円）  
みちのく潮風トレイル・八戸十和田トレイルの関係者、専門家、観光事業者等によるフォーラムの開催
- (4) Google マップ活用セミナー委託料（1, 791千円）  
Google マップ活用の重要性などの基礎を学ぶセミナーの実施に加え、Google ビジネスプロフィール登録等について参加者の習熟度に応じたワークショップを行う。
- (5) 持続可能なガイドライン（JSTS-D）事業費（421千円）  
持続可能なガイドラインの取組を進めるための経費
- (6) 市内小中学校向け種差海岸体験学習ガイド派遣業務委託料（330千円）  
地元の小中学校を対象に、遠足等で種差海岸を訪れる際のガイド費用を補助し、専門ガイドによる案内のもとで海岸を歩く体験プログラムを実施する。
- (7) 宿泊税検討会事業費（1, 012千円）  
宿泊税導入を検討するための検討会開催費用。

## 6 宿泊税検討委員会の設置について

### (1) 宿泊税の概要

- ①宿泊税は、観光資源の魅力向上や情報発信、旅行者の受入環境の充実、その他の観光振興を目的とした法定外目的税。税収は観光振興を目的とした事業に活用
- ②国内では19自治体が導入済みで、約30自治体が2026年中の導入を予定。
- ③人口減少や高齢化による歳入減少や社会保障費の増加で観光関係費が将来減少することが見込まれるため、安定的な財源確保の手段として宿泊税導入を検討する自治体が増えている。

### (2) 宿泊税導入までの基本的な流れ

宿泊税導入には、検討開始から概ね2年程度を要する。

- ①検討・調整（現状分析、制度設計、検討委員会設置）
- ②合意形成（宿泊事業者や観光団体との意見交換、住民説明、条例制定）
- ③準備・施行（総務大臣同意、システム構築、制度施行）

### (3) 検討委員会の設置について

当市では、宿泊税の導入の是非を検討するため、有識者や宿泊事業者等による検討委員会を設置します。

基本方針	方針	展開する施策	アクションプラン（新規事業）	R8当初予算
○基本方針1 地域の事業者稼 ぐ観光を目指 し、観光消費額 を拡大する	(1)食のまち・八 戸の推進	1 食べ歩きできるコンテンツ開発	★①ワールドシーフード・ウォーク（仮称）の 実施	○
		2 当市の水産・畜産等と観光を融合させた新たな観光の創造	★②はちのへ食文化会議（仮称）の開催	○
		3 食べに行きたくなるまちの仕掛け	③食のガイドブック製作	
		4 地元特産品の販売促進		
	(2)国立公園種差 海岸の魅力向上	5 「種差海岸」の豊かな自然の活用と守るべき価値の保存	④八戸流サステナブルツーリズムの実施	
		6 民間投資を呼びこむエリアの設定	★⑤「種差」地区計画策定事業	
		7 文人墨客に愛された独自の魅力や歴史を活かしたブランディング	⑥メタ観光の推進	
		8 みちのく潮風トレイルと八戸十和田トレイルを連動させたPR とトレイルのスタート地点としてのブランド価値の向上	★⑦みちのく潮風トレイルと八戸十和田トレイ ルを連動させたPR事業・イベント等の実施	○
	(3)インバウンド 対応の充実	9 ターゲット、情報発信方法の精査		
		10 広域連携によるプロモーション強化		
		11 受入環境の整備	★⑧グーグルマップ対応の充実	○
		12 訪日客の現状やニーズを詳細に把握する（アンケートの強化 等）		
	(4)高付加価値の 創出	13 観光コンテンツを活用した宿泊観光の促進		
		14 アウトドアスポーツツーリズム・サステナブルツーリズム・ アドベンチャーツーリズムの推進	④八戸流サステナブルツーリズムの実施【再 掲】	
		15 地元ならではの体験プログラムの開発		
		16 広域連携		
	(5)文化観光・ス ポーツツーリズム の推進	17 中心市街地の公共施設等を活用したまち歩き	⑨ハチノヘウォーカーブル事業【継続】	継続
		18 スポーツ大会・合宿等の誘致		
		19 地域の文化や伝統の保存と活用、歴史的資源を活用した観光 の推進	⑥メタ観光の推進（再掲）	
	(6)観光インフラ 整備	20 目的地となるような宿泊施設の誘致や大規模なスポーツ大会 に対応するための宿泊施設への支援	⑩宿泊施設等の改修・整備計画策定支援	
		21 交通アクセスの向上・八戸駅のゲートウェイ化の促進		
	(7)地域全体での 連携強化	22 地元観光事業者等と連携した取組		
	(8)国内外からの 誘客の促進	23 観光情報サイト、SNS、イベント、商談会、メディアなどを活 用した効果的な魅力発信		
		24 旅行会社・交通事業者（鉄道、航空、高速道路、バス、タク シー等）と連携した取組		
		25 データ基盤の整備と活用の強化		
		26 MICEの誘致促進		
		27 大型客船の誘致		
○基本方針2 持続可能な観光 の確立	28 持続可能な観光を確立し、地域経済 の発展、環境保 護、地域文化の保 全と継承を進める	持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）を活用しながら、効 果的で持続可能な観光地マネジメントへの取組を進める	★⑪指標評価ワーキンググループの設立等	○
○基本方針3 観光振興による 市民の幸福度の 向上	(1)観光人材の育 成	29 観光の目指す姿や観光による地域づくりを理解してもらうた めの観光振興プラン概要版の作成	⑫観光振興プラン概要版作成事業【継続】	継続
		30 市民が観光地を案内できるようにするための八戸観光ガイド ブックの作成	③食のガイドブック製作【再掲】	
		31 観光資源を活用して子どもたちが地域を学び、誇りを持てる ような教育プログラムの実施	⑬小学生向け観光副読本の作成 ⑭市内小中学校ガイド派遣補助制度	○
		32 大学など教育機関との連携強化	⑮大学等との共同研究・教育連携事業 ★⑯観光人材育成プロジェクト ⑰食育プロジェクト（食のまちはちのへと連 動）	
		33 旅行に来てもらうだけでなく、市民が旅したくなる取組の実 施	⑱小中学校におけるラーケーション（学習 Learning）と休暇（Vacation）導入事業	
	(2)観光による経 済活性化	34 域内調達率の向上	⑲地産地消推進事業	
		35 観光客受入環境の整備促進、観光資源の魅了向上、観光教育 のための財源の確保に向けて宿泊税の導入を検討	★⑳宿泊税検討会	○
	(3)出会いと交流 （関係人口の拡 大）	36 住んでよし、訪れてよしのおもてなし向上		
		37 観光客が祭りや郷土芸能等の体験・交流により地域と結びつ く取組の実施		

※令和7年度から着手したものは【継続】として掲載

★新規事業の中で優先的に取り組む8事業

## 地震からの復興PRの取組について

### 1 背景と目的

昨年12月8日に発生した青森県東方沖の地震により、観光や交通、宿泊施設、特に飲食店に大きな影響が生じたため、市、VISIT はちのへ、JR、青森県、地元関係者などが連携し、観光客の回復を目的として、地震からの復興と観光のPRに取り組んでおります。

### 2 実施した取組の概要

#### (1) 「JR八戸線」全線運転再開に伴う お見送り

実施日：令和7年12月30日（火）  
場所：八戸駅構内（9：29発 久慈行）  
対応：八戸市、VISIT はちのへ  
内容：お見送り、横断幕掲出



#### (2) 「東北エモーション」運行再開に伴うお見送り・お手振り

実施日：令和8年1月9日（金）  
場所：八戸駅、鮫エリア、種差海岸芝生地エリア  
対応：青森県、八戸市、JR 東日本、VISIT はちのへ、鮫観光協会、種差観光協会  
内容：お見送り・お手振り、横断幕掲出

#### (3) 上野駅観光キャラバン

実施日：令和8年1月10日（土）  
場所：上野駅構内（とまり木）  
対応：八戸市、JR 東日本、VISIT はちのへ  
内容：八戸えんぶりのPR



#### (4) 青森・北海道道南産直市

実施日：令和8年1月17日（土）～18日（日） ※催事は1/14～1/18

場所：東京駅構内（スクエアゼロ）

対応：青森県、北海道、青森市、八戸市、函館市、北斗市、JR東日本、JR北海道、VISITはちのへ

内容：八食センター等による物産販売、えんぶり披露、いかずきんズ等によるPR



#### (5) 八戸圏域食旅フェスタ in 日比谷 OKUROJI

実施日：令和8年1月24日（土）～25日（日）

場所：八戸都市圏交流プラザ「8base」

対応：八戸圏域8市町村

内容：八戸圏域構成市町村による観光PR、八戸圏域事業者による物産販売 等



#### (6) ツガルカイセンPRイベント

実施日：令和8年1月31日（土）～2月1日（日）

場所：仙台駅3階 みどりの窓口前通路

対応：八戸市、函館市、JR東日本、JR北海道

内容：観光PR、じゃんけん大会



(7) 「風っこストーブうみねこ号」お見送り

実施日：令和8年1月31日（土）～2月1日（日）

場所：八戸駅構内（11:06 発 久慈行）

対応：八戸市、VISIT はちのへ

内容：お見送り、横断幕掲出

(8) とまこまいスケートまつり

実施日：令和8年2月7日（土）～8日（日）

場所：苫小牧市中央公園

対応：八戸市

内容：観光 PR、せんべい汁販売



(9) 「SATONO」お見送り

実施日：令和8年2月11日（水・祝）

場所：八戸駅構内（10:50 発 大湊行）

対応：八戸市、JR 東日本、VISIT はちのへ

内容：いかずきんズやえんぶり太夫による  
お見送り、横断幕掲出



(10) 「リゾートうみねこ」お見送り

実施日：令和8年2月21日（土）～22日（日）

場所：八戸駅構内（10:26 発 久慈行）

対応：八戸市、JR 東日本、VISIT はちのへ

内容：お見送り、横断幕掲出

### 3 今後実施予定の取組

#### (1) はちのへ応援フェア in 羽田産直館

実施日：令和8年3月18日（水）～30日（月）

場所：羽田産直館

対応：八戸市

内容：観光PR（3/20～3/22）、特産品やご当地グルメの販売

#### 【参考】令和7年度に実施した「はちのへフェア in 羽田空港」実績（10/3～10/5）

##### ①市長トップセールス

- ・日本空港ビルディング㈱役員表敬 10/3（金）14時～
- ・観光PR

##### ②八戸うまいもの市場（産直館）（10/3～10/9）

- ・取扱品目数 88品目

##### ③空港レストランとのコラボレーションによる限定メニュー販売（10/3～10/6）※1,780円/食

- ・名称：八戸いろどり御膳（八戸ばくだん、ヒラメ刺身、サバフライ等）
- ・目標販売数：4日間計80食（日あたり20食）完売

##### ④郷土芸能披露及びいかずきんズグリーンティング（10/3～10/5）

##### ⑤ふるさと納税返礼品ガチャガチャ（10/3～10/5）

##### ⑥今後の観光誘客に役立つデータ収集を目的にアンケート及びを実施。（10/3～10/5）



(市長トップセールス)



(郷土芸能披露)



(いかずきんズ)



(産直館での物産品販売)

#### (2) 【仮称】大宮駅 産直市

実施日：令和8年3月27日（金）～28日（土）

場所：大宮駅

対応：八戸市、JR東日本、VISITはちのへ

内容：観光PR



# 『買って、食べて、飲んで』羽田空港から八戸を応援! はちのへ応援フェア in 羽田産直館

2026年3月18日(水)~30日(月)

(平日10:00~19:00 / 土日祝9:00~20:00)

羽田空港 第1ターミナル2Fマーケットプレイス(羽田産直館)

## 買って応援! はちのへ名産品販売

八戸地域の名産品や加工品を中心に販売! 普段使いから土産・ギフトまで、気軽を選んで応援できます。



チョコQ助のしんぼりから 東京初出荷 商品が登場!



## 食べて応援! はちのへご当地グルメ販売

イトインでは郷土料理「せんべい汁」「いがめんち」を提供。“味覚から八戸を知る”体験をお楽しみください。



## 飲んで応援! はちのへ地酒試飲&販売会

八戸の地酒を試飲で楽しみ、気に入った商品はその場で購入可能です。



## ハチプチギフトをプレゼント!

【プレゼント日時】  
3月20日(金・祝) 13:00~17:00  
3月21日(土) 10:00~17:00  
3月22日(日) 10:00~15:00  
※先着順、商品が無くなり次第終了となります。

ハマる、ハチノへ。をお楽しみください!



昨年12月に発生した青森県東方沖地震により、八戸市は甚大な被害を受けましたが、多くの皆様からの御支援により、着実に復興への歩みを進めております。

本フェアでは、北の風土が育んだ、八戸ならではの味覚を取り揃えておりますので、自慢の逸品を御堪能ください。

そして是非、八戸に足を運びいただき、活気あふれる朝市や、風情ある横丁文化を体感していただければ幸いです。

本フェア開催にあたり、貴重な機会を御提供いただきました日本空港ビルデング株式会社様に、心より感謝申し上げます。

八戸市長 熊谷 雄一

## 食のまち・八戸応援食事券事業について

### 1 目的

物価高騰による外食控えと、青森県東方沖地震による建物や食器等の什器への被害に加え、自粛による予約キャンセル等が発生するなど、大きな被害を受けた市内飲食店を支援することを目的に、市内飲食店で使用できる食事券を販売するもの。

※財源は、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用。

### 2 概要

項目	内容	備考
(1)食事券	1,000円×8枚綴り=8,000円 1人1セット限り 5,000円で販売 プレミアム率60%	
(2)発行総数	20,000セット	
(3)対象者	八戸市民	R8.3.1時点で住民登録があること
(4)購入方法	専用Webサイト・LINE・専用往復はがき事前申込制 ① 申込期間 R8.3.1～R8.3.14 ② 申込結果(3/14現在) ● web申込 8,670件 ● LINE申込 10,217件 ● はがき申込 1,521件 合計 20,408件	申込内容の確認・精査中
(5)食事券利用店舗	○一次募集 R8.2.10(火)～R8.2.28(土) ○二次募集 R8.3.1(日)～R8.3.12(木) 合計294件	294店舗 (R8.3.16時点)
(6)食事券販売店舗	11店舗(市内スーパー等)	
(7)販売(引換)期間	R8.4.1(水)～R8.5.19(火)	
(8)利用期間	R8.4.1(水)～R8.6.30(火)	

### 3 事業費

7,800万円(委託料:1,800万円・食事券原資:6,000万円)

## 国立公園種差海岸の魅力向上事業について

### 1 種差キャンプ場の東屋修繕

#### (1) 概要

種差海岸を鳥瞰できる当東屋は、観光客、種差キャンプ場の利用者及びハイカー等による利用者が多い場所であり、昭和57年に竣工してから40年以上にわたり、潮風や強い日差しといった厳しい自然環境にさらされたことで老朽化が著しく、天然芝生地の景観保全及び利用者の安全と利便性を確保するために修繕を行った。

#### (2) 修繕期間

令和7年10月28日から令和7年12月26日まで

#### (3) 修繕内容

従前の雰囲気維持し、耐用年数を延ばすため以下を実施

- ・「接ぎ木」の手法による、一部の柱の根本1m程度を新しい材木へ取替
- ・すべての腰壁を取替
- ・錆びた金具類の取替
- ・すべての材木に風雨や虫に保護効果がある薬剤を塗布
- ・床タイルの破損箇所を補修

#### (4) 東屋写真

■修繕前

■修繕後



## 2 JR種差海岸駅の駅舎改修

### (1) 概要

1924年（大正13年）に開業し、JR八戸線の中でも特に観光利用が多く長年にわたり地域の方々や観光客に親しまれてきた駅舎について、東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社においてリニューアル改修工事が行われた。

### (2) 改修工事開始日

令和7年10月16日

### (3) 駅舎使用開始日

令和7年12月1日（同日記念セレモニーを開催）

### (4) リニューアル内容

外 観：種差海岸を「日本一の絶景」と讃えた鳥瞰図絵師・吉田初三郎のアトリエ兼別荘「潮観荘」をイメージ



駅舎内：天井には吉田初三郎による「八戸市鳥瞰図」（1953年）を装飾



（写真提供：株式会社デーリー東北新聞社）

### 3 JR種差海岸駅前の観光案内板の更新

#### (1) 概要

JR八戸線を利用して種差海岸を訪れる観光客やハイカー等の受入環境の改善を図るため、平成17年に設置し、平成26年の更新から10年以上が経過し、掲載情報が古くなっていったほか、経年劣化により文字が読みにくくなっていったJR種差海岸駅前の案内板を業務委託により更新した。(令和8年3月2日完成)

#### (2) 更新内容

板面(W1,200mm×H600mm)の張替

- ① 駅舎リニューアルにより天井に描かれた鳥瞰図と連動した一体的なPRを図るため吉田初三郎と潮観荘の概要を紹介
- ② 徒歩での周遊を想定し、蕪島までの広範囲マップではなく、種差海岸駅前周辺マップを拡大して掲載
- ③ VISITはちのへの種差海岸案内ページにつながるQRコードを掲載

#### (3) 板面デザイン(新/旧)

##### ■旧デザイン(平成26年10月~令和8年2月)



##### ■新デザイン(令和8年3月~)



## 観光・物産PR（イベント参加・実施）について

### 1. 2025 青森人の祭典

本祭典は、青森の食や文化、観光の魅力を広く紹介し、郷土料理や伝統芸能を体験できるイベントとして、東京青森県人会が主催。今年度、VISIT はちのへとして初めて出展した。

(1) 日 時 令和7年11月8日(土)・9日(日) 10:00~17:00

(2) 会 場 上野恩賜公園 竹の台広場

(3) 来場者 約11万人(2日間)

(4) 参加団体 66団体(民間事業者・県内自治体)

(八戸圏域関係の出展者)

- ・八戸せんべい汁研究所(八戸市)
- ・貝守やまゆり会(三戸町)
- ・柏崎青果(おいらせ町)
- ・田代えんぶり組(階上町)
- ・ごっつり(東京都)
- ・割烹白山(三戸町)
- ・階上町
- ・VISIT はちのへ

(5) VISIT はちのへの出展・実施内容

- ◆八戸市の特産品の販売(21品)
- ◆観光PR(パンフレットの配布等)
- ◆来場者アンケートの実施



## 2. 青森・八戸の旬を堪能するトーク&試食イベント

### ツレヅレハナコさんと生産者が紐解く『食のまち・八戸』おいしさの秘密

食への関心が高いファンを多く持つ料理研究家、ツレヅレハナコ氏を講師に迎えた。八戸エリアの食材を使用したメニュー提供や地元生産者とのトークセッション等を通じて、八戸エリアの食をPRするイベントをオレンジページとの共催により実施した。

#### 【講師紹介】



#### ツレヅレハナコさん

食と旅と酒をこよなく愛する文筆家・料理研究家。雑誌や書籍、WEBでのレシピ提案やエッセイ執筆に加え、イベントや料理講座でも活躍。SNSでも日常や食の発信が人気を集めている。著書に『女ひとりの夜つまみ』『まいにち酒ごはん日記』『ツレヅレハナコのからだ整えカレー』など多数。さらにオリジナル揚げ鍋や調理バット、食器などのプロデュースも手がけ、暮らしに寄り添う幅広い活動を展開している。

- (1) 日時 令和7年11月8日(土) ①12:30~14:00 ②17:00~18:30
- (2) 会場 Kimchi, Durian, Cardamom, , (JR山手線「新大久保駅」直結の施設内)
- (3) 参加者 一般参加：53名(昼の部29名、夜の部24名) ※応募総数252名  
メディア：11名(casaBrutus、クロワッサン、Frau、dantyyuu等)
- (4) 参加料 3,300円
- (5) 内容 ①VISITはちのへ、講師による八戸エリアの魅力紹介  
②試食タイム(講師考案メニュー)  
③講師×生産者トークセッション  
「八戸毬姫牛」生産者：イチカワファーム代表 市川広也氏  
「南部太ねぎ」生産者：杉澤農園代表 杉澤均和氏



### 3. 旅行エージェントを招請した現地視察会

首都圏の旅行エージェントを招き、八戸圏域の観光スポットを視察。当圏域への理解を深めるとともに、魅力的な旅行商品の造成につなげることを目的に実施した。

- (1) 実施日 令和7年11月13日(木)・14日(金)
- (2) 招請者 トラベル懇話会 会員
- 会長 百木田 康二 氏 (東武トップツアーズ(株) 代表取締役社長)
- 副会長 原 優二 氏 (株風の旅行社 代表取締役)
- 会員 戸井川 裕美子 氏 (株ピコ 代表取締役社長)
- 理事 川嶋 泉 氏 (当懇話会事務局長)
- ※ツアーコーディネート：(株)AC プロモート (町田直子 代表)

- (3) 視察先 【11月13日】
- 南郷ひなた農園、是川縄文館、八戸横丁めぐり
- 【11月14日】
- 八戸市魚菜小売市場、市長表敬訪問、八戸酒造、種差海岸(蕪島、葦毛崎、天然芝生地)、八食センター



### 4. 日本東北遊楽日 2025

(一社)東北観光推進機構が主催する台湾(台北)での旅行博に出展し、現地プロモーションを実施した。

- (1) 日時 令和7年12月6日(土)～7日(日) 10:00～18:00
- (2) 会場 華山1914文化創意産業園區(台北市)
- (3) 来場者 2日間合計 101,616人(12/6 50,424人、12/7 51,192人)
- (4) 出店団体 47団体(青森県内DMOは全て参加)
- (5) VISITはちのへ出展内容

#### 【ブース出展】

- ・八戸三社大祭、八戸えんぶり、館鼻岸壁朝市、種差海岸、等のビジュアルを用いた壁面装飾

- 八戸圏域マップ（繁体字版）等のパンフレット配布
- 観光 PR 動画（えんぶり、三社大祭、横丁・朝市等）の放映
- 来場者アンケートの実施 ⇒ アンケート回答者を対象にトートバッグを配布

#### 【協賛企画への参加】

- 東北 BAR（地酒の試飲）への参加（八戸圏域が誇る3つの酒蔵の日本酒を提供）
  - スタンプラリー企画への参加（VISIT 公式 SNS フォローが条件）
- ※イベント直後：フォロワー 651 件増加（Facebook +433、Instagram +218）



## 5. 青森県・函館観光キャンペーン企画「種差冬バル」

JR 東日本による「青森県・函館観光キャンペーン」（令和7年12月～令和8年3月）の期間において、VISIT はちのへと AC プロモートの共催により、冬の種差海岸への誘客に向けたイベントを実施。本イベントを通じて、冬の種差海岸の美しい自然景観美や旬の食材、そして人との触れ合いを核とした高付加価値な体験を提供する。

### （1）イベント内容

- 種差海岸（天然芝生地エリア周辺）において、八戸市内の人気のイタリアン、スペイン料理等のシェフを招き、新鮮な地元食材を活かしたピンチョスメニューなどを提供・販売。どなたでも参加可能な食べ歩き型のイベントとして実施。
- 「海カフェたねさし」前のスペースに、テントを3～4張り設置（中にストーブも設置）し、ワインや日本酒とのペアリングと冬の種差海岸の美しい自然を楽しみながら、この時期・この場所ならではの特別な食体験を提供する。

【共催】 ㈱AC プロモート・(一財)VISIT はちのへ

【日時】 12月7日(日)、1月18日(日)、2月1日(日)、3月1日(日)、3月29日(日)  
時間：11:00～17:00

【会場】 種差海岸 天然芝生地周辺（出店・飲食エリアは「海カフェたねさし」周辺）

【出店】 ARi / zuppa / Knot / リベル / はやし青果 / Wharf TANECHI

## (2) 第1回の実施状況

日 時 令和7年12月7日(日) 11:00~17:00

会 場 海カフェたねさし前

来場者数 約300人 ※イベント全体では約1,500人

参加店舗

Knot	Zuppa	リベル	Wharf TANECHI
------	-------	-----	---------------

### 【第1回 種差冬バルの様子】



## (3) 種差冬バル(12/7) 併催イベントの状況

### ① 「潮風食トレイル」

内容：種差エリアの飲食店が地域食材を活かした当日限定のメニューを数量限定の特別価格で提供。

主催：NPO 法人 ACTY

参加店舗



波光食堂	松家食堂	ミチル種差	海カフェたねさし
------	------	-------	----------

※12/7 のみの開催

### ② 「しおかぜキッズカフェ」

内容：地元事業者が地域資源を活かした子ども向けメニューを開発し、当日キッズカフェブースにて、こども楽しめる空間にて提供。メニューはこども向けに1食500円程度で販売。(※1店舗 約60食を用意し、全て完売)

主催：NPO 法人 ACTY

時間：11:00~17:00

会場：種差インフォメーションセンターレクチャールーム

参加店舗



種差少年自然の家	かばーにゃ	Komeko 食堂	STOKED Doughnuts	ままかせ亭
----------	-------	-----------	------------------	-------

※12/7 のみの開催

### ③「棒パンづくり」

内容：子どもを対象とした棒パンづくりを実施。

共催：NPO 法人 ACTY

時間：11:00～15:00

会場：種差インフォメーションセンター中庭

※12/7、1/18、2/1、3/1 開催、3/29 開催予定



### ④「たねさし凧あげ」

内容：天然芝生地で子どもを対象とした凧あげを実施。

※参加料無料

共催：AC プロモート・民宿石橋

時間：11:00～15:00

会場：天然芝生地

※12/7、1/18、2/1、3/1 開催、3/29 開催予定



### ⑤「お月見会」

内容：種差観光協会の柳沢会長による「お月見会」を開催。

座学から始まり、海に反射してできる「月の道」の解説を聞きながら鑑賞する。

共催：種差観光協会・AC プロモート

時間：17:45～18:30

会場：海カフェたねさし（座学）、天然芝生地（月の見物）

※12/7、2/1、3/1 開催、3/29 開催予定



## アニメコンテンツを活用したデジタルスタンプラリーの実施について

### ◎ 事業概要

高い訴求力を持つアニメ・ゲームコンテンツを活用し、これまで接点が少なかった層を八戸エリアへ呼び込むことを目的に「アイドルマスター シンデレラガールズ×名鉄観光サービス『ようこそ八戸へ!』デジタルスタンプラリー」を本年2月6日（金）から3月15日（日）の期間で実施。



### 【イベント内容】

#### (1) デジタルスタンプラリー（有償）

参加者には、三陸復興国立公園及びJR八戸線を活用した八戸市内の観光スポットなど11箇所を周遊していただき、規定の個数を集めると、ユートリー・蕪島物産販売施設「かぶーにゃ」でオリジナルグッズと引き換えることができる。

#### (2) キャラクターパネルの設置

八戸市内の観光スポットなどにキャラクターパネルを設置し、周遊促進を図る。



#### (3) コラボグッズの販売

市内2箇所アイドルマスターシリーズとのコラボレーショングッズを数量限定で販売し、土産品の需要喚起を図る。なお、ユートリーで販売したコラボグッズについては、3/5時点で完売した。

【詳細】

開催期間	2026年2月6日（金）～3月15日（日）	
販売価格	3,000円（デジタルスタンプラリー参加費）	
実施主体	主催：名鉄観光サービス株式会社 協力：アイドルマスターシンデレラガールズ、VISIT はちのへ、八戸市、JR 東日本八戸統括センター、八戸酒造株式会社、三陸復興国立公園管理事務所	
デジタルスタンプラリースポット	約 11 カ所（種差エリア・陸奥湊エリア・歴史文化施設等） ① ユートリー ② 史跡根城の広場 ③ 八戸ポータルミュージアム はっち ④ みろく横丁 ⑤ 八戸市魚菜小売市場 ⑥ 八食センター ⑦ 蕪島物産販売施設「かぶーにゃ」 ⑧ 八戸市水産科学館 マリエント ⑨ 葦毛崎展望台 ⑩ 種差海岸インフォメーションセンター ⑪ 種差海岸駅 おまけスポット ・八戸酒造 ・鮫駅	
キャラクターパネルの設置場所	大パネル（W60cm×H180cm） ・ユートリー ・かぶーにゃ ・種差海岸インフォメーションセンター	小パネル（A3 サイズ） ・八戸ポータルミュージアムはっち ・史跡根城の広場 ・八戸市魚菜小売市場 ・八戸市水産科学館マリエント
コラボグッズの販売・デジタルスタンプラリー景品引換場所	① ユートリー ② 蕪島物産販売施設「かぶーにゃ」	



【ユートリー設置パネル】



【かぶーにゃ設置パネル】



【種差 IC 設置パネル】

## 令和8年八戸えんぶりについて

### I VISIT はちのへの取組(えんぶりを活用した観光 PR 活動等)

#### 1. 八戸駅でのえんぶり披露

- (1) 目的 「青森県・函館観光キャンペーン」において、JR 八戸駅構内で観光客等  
に対して「えんぶり」を披露し、認知度の向上及びえんぶり開催期間中の  
来訪につなげる。
- (2) 実施日 令和8年1月10日(土) 八戸杵研賛会  
17日(土) 仲町えんぶり組  
24日(土) 妻神えんぶり組  
31日(土) 売市えんぶり組
- (3) 時間 ①9時50分～10時05分  
②10時50分～11時05分 ※各日15分間2回の披露
- (4) 場所 八戸駅東西自由通路

#### 2. 八戸駅へのえんぶり人形設置

- (1) 目的 「青森県・函館観光キャンペーン」において、JR 八戸駅構内にえんぶり  
人形を設置し、認知度の向上及びえんぶり開催期間中の来訪につなげる。
- (2) 実施日 令和8年1月11日(日)～2月27日(金)
- (3) 場所 八戸駅新幹線コンコース内
- (4) 協力 はちのへ山車振興会



#### 3. 上野駅でのえんぶり PR

- (1) 目的 「青森県・函館観光キャンペーン」において、東日本旅客鉄道(株)盛岡支  
社、八戸市と連携し、えんぶりや八戸の PR を行う。
- (2) 日時 令和8年1月10日(土) 12:30～16:00
- (3) 場所 JR 上野駅3階エキュート内「とまり木」
- (4) 内容
- ・えんぶりの DVD 放映
  - ・八戸観光、えんぶり PR パンフレット等配布
  - ・八戸市の観光コンテンツに関する認知度アンケート
  - ・アンケート協力者にえんぶり缶バッジ(いかずきんズ)をプレゼント



#### 4. 東京駅でのえんぶり等 PR (伝統芸能を活用した観光 PR 業務を青森県から受託)

- (1) 目的 令和7年12月8日に発生した青森県東方沖地震で被害を受けた八戸地域に関し、震災からの復興を PR し首都圏からの誘客を促進し、青森県・函館観光キャンペーンの一環として、JR東日本クロスステーションが東京駅で主催する青森・北海道道南産直市において八戸えんぶりを実施したほか、観光PRスペースでの八戸地域の観光情報発信を行った。
- (2) 日時 令和8年1月17日(土) ①15:30 ②17:30  
18日(日) ①11:30 ②14:30 各20分間
- (3) 出演組 福田上えんぶり組(南部町)
- (4) 場所 JR東京駅改札内地下1階 イベントスペース「スクエア ゼロ」
- (5) その他 観光PRスペースにおいて、八戸地域の観光情報についてのPR

#### 5. 冬季コンテンツの開発事業(青森県観光国際交流機構からの受託業務)

- (1) ツアーの名称 「お庭えんぶり前列チケット付き」  
八戸えんぶりと美酒を味わう！冬の八戸満喫体験
- (2) 内容 ①えんぶり解説：八戸市公民館長の榎谷伸夫氏による、えんぶりの歴史や見どころの解説(会場：八戸酒類・旧ほこるや2階)  
②酒蔵体験：八戸酒類での蔵見学および試飲体験  
③街歩き：「八戸さんぽマイスター」の案内による情緒あふれる横丁巡り  
④お庭えんぶり鑑賞：更上閣にて、前列(1列目または2列目)で鑑賞  
⑤限定特典：参加者全員に「えんぶりラベル」の日本酒2本をお土産として贈呈
- (3) 日程 令和8年2月20日(金) 13:30(集合)～18:00頃(解散)
- (4) 定員 10名(応募総数：31組45名)  
※申込者の居住地構成について、最も多かったのは、青森市15名、県外では東京都、神奈川県、千葉県を合わせた関東圏からの申込が11名、その他東北地方からの申込であった。
- (5) 参加費 10,000円(税込)
- (6) 申込期間 令和8年1月9日(金)～1月25日(日)
- (7) 行程

13:30	集合：八戸酒類(旧ほこるや前)
13:40～14:25 (45分)	酒蔵見学・試飲体験
14:25～15:05 (40分)	榎谷氏によるえんぶりの歴史解説
15:10～15:25 (15分)	八戸酒類でのお買い物
15:25～16:30 (65分)	街歩き(マチニワ～横丁散策)
17:00～18:00 (60分)	お庭えんぶり鑑賞(1列目または2列目)
18:00～	アンケート回答後、現地解散

## II 八戸えんぶり

1. 期間 令和8年2月17日(火)～20日(金)
2. 場所 長者山新羅神社、中心街、八戸市庁前、更上閣など
3. 主催 八戸地方えんぶり保存振興会
4. 入込数 集計中
5. 新たな取組

### (1) お庭えんぶり(更上閣)

- ・一般販売において、これまでのローソンチケットでの販売に加えアジア最大級の旅行体験予約サイト「Kkday」で販売。
- ・委託販売枚数：8公演124席(完売)
  - ※うち外国人28名(台湾8名、香港3名、オーストラリア13名、オランダ1名、ルクセンブルク2名、ドイツ1名)
- ・全ての座布団席に座椅子を設置
- ・ひざ掛けの更新

### (2) かがり火えんぶり・えんぶり一般公開(市庁前広場)

- ・えんぶり披露ステージを縦横1.8m拡張。(全体：横幅11.8m奥行き9.1m)
- ・八戸地方の食文化を観光客及び市民に紹介し、食を楽しんでもらうために、飲食出店エリアを「八戸うまいもん広場」と題し、各出店者には八戸地域の食べ物を1品以上提供することを条件に開催した。(キッチンカー2台を含む21店舗の出店)